経済学部

国際経済学科

演習Ⅱ・Ⅲ

Keyword

1. 授業は時事問題や実際の経済などとリンク
2. サブ・ゼミで「貿易実務」をロールプレイ
3. 外国を視察するゼミ研修も実施

金 栄緑 教授　博士(経済学)

PROFILE

○担当教科／国際貿易論、ミクロ経済学
○専攻・研究テーマ／国際経済学・貿易理論
○論文／「地方自治体における廃棄物処理政策の経済分析」『産業経営研究』熊本学園大学産業経営研究所

貿易立国と称される日本を中心とした国際経済を理解する。

TPPやEU、韓流から熊本経済まで、時事問題や実際経済とリンクさせて学ぶ

日本を中心とする国際経済の理解がこのゼミのテーマです。経済学理論の学習や国際事情の調査・比較などを交えながら、国際事情・国際経済関係・国際経済学などの基礎を学習します。たとえば、今、日本国内でも参加・不参加の議論がヒートアップしているTPP(環太平洋連携協定)や、世界が注目しているEU経済の理解、そして韓国経済や韓流、また熊本経済までを広く考えていきます。貿易立国とされる日本ですが、将来的に日本がもしTPPへ参加した場合、日本の農業はどうなるのか？自動車産業の行方は？などは、みなさんも興味があるところだと思います。

テキストには「通商白書」や「世界開発報告(World Development Report)」などを用い、それらを輪読後に自分の意見を発表し、全員で議論するといった方法のゼミを進めていきます。

また、雑誌記事や新聞等の国際関係に関するトピックスを配布。テキストや理論だけでなく、時事問題や実際の経済などとリンクさせた形式を取っているのも特長です。

目標とするのは、国際経済に関する経済現象、政策などに関する現状とその背景にある理論的な仕組みを正確に理解し、正しく分析・判断・評価できる能力の獲得です。

貿易実務のロールプレイなどゼミ生の興味を高めるサブ・ゼミも実施

研究調査においては、ゼミメンバーが主体的に行動していくスタイルを採用しています。

昨年は、ゼミの中で日本のTPP参加の是非を考え、TPPの理論的背景の学習、あるいは問題意識を確認した後、学園大の学生を対象に「TPP参加に関する意識調査」を実施。国の重要なテーマに対する学生の無関心さが浮き彫りになったこの調査活動は、新聞にも掲載されました。

また今年は、昨年と同様に「貿易実務」のシミュレーションをサブ・ゼミとして設定。モノ・カネ・書類の動きを学びながら、取引きに関する書類作成にもトライします。前回は「熊本の水」を中国に輸出することを想定。ゼミ生が企業や銀行・税関などを担当して、オファーシート・契約書・船舶保険・輸出申請書・梱包リスト・重量証明など17種の書類を作成(すべて英語で記入)するロールプレイを行いました。通常とは異なるこの学習は、学生の興味や向学心をかきたてたことでしょう。

現在は、熊本経済の低迷を考え、熊本の観光戦略について取り組んでいます。テーマを決め小グループ分けをして、グループご

とに調査し全体的にまとめるプロジェクトです。各グループから、ワンピースとのコラボとかモノレールの建設など、様々なアイディアが出ているところ。最終的にその結果をまとめて、熊本市や県に提言するところまでを目標にしています。

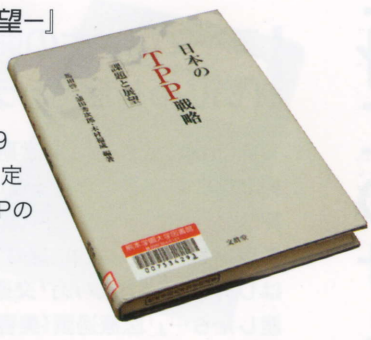
様々な場所に赴くゼミ活動も計画!
昨年はゼミ研修で韓国・釜山へ

ゼミ活動としては、日本銀行熊本支店、放送局、工場や港湾の見学などを予定しています。昨年はその発展形ともいえる研修旅行で、韓国の釜山(プサン)へ赴きました。街を散策したり、港湾を見学したり、学生にとっても思い出深い体験になったと思います。今年はタイへの研修旅行を計画中です。

国際経済の理解を図るための学習や活動を行うゼミですから、国際関係に関心がある学生を歓迎しています。また自ら活発に行動する人に向いているゼミです。このことからゼミ生は、誰かの指示によって動く人間ではなく、自ら問題意識を持って諸問題を理解・分析し、解決策を考えることのできる「自立的社会人」へと成長できるものと思っています。

この本に注目!

『日本のTPP戦略　−課題と展望−』



政府が参加を検討しているTPPは、国内でも賛否が大きく分かれています。TPPに関する書物はその9割が反対意見ですが、この本は肯定的。少し専門的ではありますが、TPPの内容を知りたい人にお勧めです。

詳しくはWebで！　熊本学園大学　入試大事典　検索

Message・ゼミ生メッセージ

興味のある国際経済・貿易分野を様々な体験を重ねながら学習しています。

松井 理紗
国際経済学科3年

ユニークな先生が担当する笑いの絶えないなごやかな雰囲気のゼミ

1年次に、金先生の入門セミナーを受講したことがきっかけで、2年次でも金先生のゼミを選択。経済学者を調べてパワーポイントで発表する授業が楽しかったことに加え、国際経済・貿易分野に関心があったからです。

金先生自身がユニークな方なので、ゼミは2年生と3年生の混合ですが和気あいあいとしており、いつも笑いが絶えません。授業で印象に残っているのは昨年の貿易実務のロールプレイを行ったこと。また現在、熊本の観光活性化をテーマにして授業が行われていますが、韓国と関係の深い熊本の観光地などを教えてくださる先生の豊富な知識にも驚かされています。

韓国と日本の文化の違いを楽しく学んだ3泊4日の韓国の釜山旅行

金ゼミでは、ゼミ研修へも出かけています。昨年は、3泊4日で韓国の釜山(プサン)へ行きました。釜山は福岡県の博多港から、高速船を利用して数時間で行ける韓国の港町。このときは主に街の散策や文化体験、また多くのコンテナが積まれた国際港としての雰囲気の漂う釜山港も見学することができました。

先生がガイドの役目も担当してくださったので、研修旅行自体がとても充実。街や人々の様子、そして食事なども堪能し、韓国と日本の文化の違いも思い切り楽しむことができました。今年も海外へゼミ研修に行く計画が持ち上がっているようで、楽しみです。